

注3

大学番号：国076

[平成23年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

長崎大学大学院 工学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 長崎大学
平成25年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名・職名・氏名

総務部総務企画課企画班主査（企画）

村上

陽介

工学部支援課総務係長

城戸

昌子

電話番号 095-819-2014

F A X 095-819-2024

e-mail soshikai@ml.nagasaki-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成25年3月15日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況, 経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 長崎大学

(2) 大学名

長崎大学

(3) 大学の位置

〒852-8521
長崎県長崎市文教町1番14号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 平成23年度に報告済の内容 → (23)
平成25年度に報告する内容 → (25)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 生産システム工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	3 年	10 人	30 人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10 (-) [-]	人	10 (-) [-]	人	10 (-) [-]	人	人	1.00倍	秋季入学(定員1人)	
志願者数	9 (3) [1]	2 (-) [2]	11 (2) [2]	- (-) [-]	9 (5) [1]	() []				
受験者数	9 (3) [1]	2 (-) [2]	10 (2) [2]	- (-) [-]	9 (5) [1]	() []				
合格者数	9 (3) [1]	2 (-) [2]	10 (2) [2]	- (-) [-]	9 (5) [1]	() []				
B 入学者数	9 (3) [1]	2 (-) [2]	10 (2) [2]	- (-) [-]	9 (5) [1]	() []				
入学定員超過率 B/A	1.10		1.00		0.90					

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 9	[2] 2	[2] 10	[2] 2	[1] 9	[-] -	平成24年度に早期修了1人
2年次	/		[1] 8	[-] -	[2] 10	[2] 2	
3年次	/		/		[1] 6	[-] -	
計	[3] 11		[5] 20		[6] 27		

- (注)
- ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	11人	2人	平成23年度	1人	0人	家庭の事情(1人)	18.2%
			平成24年度	1人	0人	進路変更(1人)	
			平成25年度	0人	0人		
平成24年度 入学者	10人	0人	平成24年度	0人	0人		0.0%
			平成25年度	0人	0人		
平成25年度 入学者	9人	0人	平成25年度	0人	0人		0.0%
合計	30人	2人					6.7%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の博士後期課程の場合(平成25年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
工学研究科 グリーンシステム創成科学専攻 博士(工学)	5 年	5 人	25 人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5 (-) [-]	-	5 (-) [-]	-	5 (-) [-]	-	() []	() []	() []	() []	() []	() []	1.00倍	
志願者数	8 (-) [3]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]	4 (-) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	7 (-) [3]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]	4 (-) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	7 (-) [3]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]	4 (-) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	5 (-) [3]	- (-) [-]	6 (-) [-]	- (-) [-]	4 (-) [1]	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00		1.20		0.80									

- (注) ・ 数字は, 平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 5	[-] -	[0] 6	[-] -	[1] 4	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[3] 5	[-] -	[0] 6	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		/		[2] 4	[]	[]	[]	[]
4年次	/						/		/		[]
5年次			/		/						/
計	[3] 5						[3] 11		[3] 14		

- (注) ・ 数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	5人	1人	平成23年度	0人	0人	就職(1人)	20.0%
			平成24年度	1人	1人		
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成24年度 入学者	6人	0人	平成24年度	0人	0人		0.0%
			平成25年度	0人	0人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	4人	0人	平成25年度	0人	0人		0.0%
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0人	平成26年度	人	人		%
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		%
合計	15人	1人					6.7%

(注)・数字は、平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合科目	生産システム工学特別講義	1前		1		1 3 2 3	1 3				兼 2	担当教員の見直しのため(25) 教育内容の充実のため(24) 担当教員の見直しのため(23)
	生産システム工学特別演習	1後	1			3 4 4 5	2 4 5				兼 4	担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(24) 担当教員の見直しのため(23)
	生産システム工学特別研究	1後	1			4 5 40	1 5 40				兼 3	担当教員の見直しのため(25) 担当教員の見直しのため(24) 教育内容の充実のため(23)
	工場実習	1・2・3通 未開講 1・2・3通		1		2 4	4					
システム工学 コース科目	機械システム設計特論	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2		1						通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	ロボティクス特論	未開講 1・2・3前		2		1						教育課程の充実及び履修希望者がいなかったため(25)
	メカトロニクス制御特論	未開講 1・2・3前		2		1						履修希望者がいなかったため(23) (24) (25)
	応用材料強度学Ⅱ	1・2・3後		2			1					
	破壊解析学	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2							兼 1	通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	トライボ損傷評価学	未開講 1・2・3前		2		4						専任教員未補充のため(24) (25)
	伝動システム学	未開講 1・2・3前		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	超精密加工・計測学特論	1・2・3後		2							兼 1	
	省エネルギーシステム学	未開講 1・2・3前		2							兼 1	履修希望者がいなかったため(23) (24) (25)
	熱流体光計測学	未開講 1・2・3前		2			1					履修希望者がいなかったため(25) 担当教員の長期海外出張のため(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	熱物質移動特論	未開講 1・2・3後		2		1	4					履修希望者がいなかったため(25) 担当教員の昇任のため(24)
	流体音響学	未開講 1・2・3後		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	熱物質変換基礎学	未開講 1・2・3前		2		1	4					担当教員の見直し及び履修希望者がいなかったため(23) (24) (25)
	多成分系熱力学特論	未開講 1・2・3後 未開講 前 1・2・3後		2				1				教育効果の向上及び履修希望者がいなかったため(24) (25)
	応用材料強度学Ⅰ	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2				1				通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	構造物解析学特論	1・2・3後		2		1						
	維持管理システム学特論	1・2・3前		2		1						
複合構造学特論	未開講 1・2・3後		2				1				履修希望者がいなかったため(25)	
連続体力学特論	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2		1						通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
軽構造解析学特論	1・2・3後		2				1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
システム工学 コース 科目	持続的居住計画論	未開講 1・2・3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	破壊管理制御工学	未開講 1・2・3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	不安定振動学特論	1・2・3後		2			1					
	社会基盤計画特論	未開講 1・2・3前		2			+	+				専任教員未補充のため(25) 履修希望者がいなかったため(24) 担当教員の見直しのため(23)
	都市施設防災工学	1・2・3後		2			1					
	地図環境工学	1・2・3前		2			1 2					担当教員の見直しのため(23)
	動的システム論	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2			+	1 +				通常開講及び担当教員の退職のため (24) 教員の見直し及び履修希望者がいな かったため(23)
	地盤解析工学特論	1・2・3前		2			1					
	鋼構造維持管理学	未開講 1・2・3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	土木遠隔計測学	1・2・3後		2				1				
	環境水理学特論	1・2・3後		2				1				
	環境マネジメントシステム論	1・2・3後		2			1					
	環境設計学特論	未開講 1・2・3後		2			+	1				担当教員の見直しのため(25)
電気情報工学 コース 科目	光エレクトロニクス特論	1・2・3後		2			1					
	電磁界解析特論	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2			1					通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	電波情報工学特論	1・2・3前		2			1					
	応用アンテナ工学特論	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2			1					通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	応用電磁波工学特論	1・2・3後		2				1				
	パワー電子回路特論	1・2・3前		2			+					兼1 担当教員の退職のため(24)
	エネルギーエレクトロニクス特論	1・2・3後		2			+					兼1 担当教員の退職のため(24)
	非線形回路・システム特論	1・2・3後		2								兼1
	プラズマ機能科学特論	未開講 1・2・3前		2								兼1 履修希望者がいなかったため(23)(24) (25)
	マグネティクス特論	1・2・3前 未開講 前 1・2・3後		2								兼1 通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24) 教育効果の向上のため(23)
	原子・分子科学特論	未開講 1・2・3後		2				1				履修希望者がいなかったため(25)
	マグネティクス応用特論	1・2・3後		2			1	+				担当教員の昇任のため(25)
	電気システム制御特論	1・2・3後		2			1					
	電気駆動システム設計特論	未開講 1・2・3前		2								兼1 履修希望者がいなかったため(25)
	電磁エネルギー放射・伝送特論	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2				1				通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24)
電気エネルギーシステム特論	1・2・3前 未開講 1・2・3前		2								兼1 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)	
電気-機械エネルギー変換特論	未開講 1・2・3前		2				1				履修希望者がいなかったため(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
電気情報工学コース科目	アナログ集積回路特論	1・2・3前 未開講 1-2-3前		2			1					通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(23)(24)
	情報処理システム特論	未開講 1-2-3前		2		4	1					履修希望者がいなかったため(24)(25) 担当教員の見直しのため(23)
	マルチメディア応用特論	未開講 1-2-3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	計算機システム構成法特論	未開講 1-2-3前		2			1					履修希望者がいなかったため(24)(25)
	ソフトウェア科学特論	未開講 1-2-3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	分散人工知能特論	未開講 1-2-3前		2				1				履修希望者がいなかったため(24)(25)
	再構成可能システム特論	未開講 1-2-3後		2				1				履修希望者がいなかったため(25)
	画像応用システム特論	未開講 1-2-3前		2				1				履修希望者がいなかったため(24)(25)
	情報ネットワーク学特論	未開講 1-2-3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	通信応用代数学特論	未開講 1-2-3前		2			1 2 +	+				担当教員の退職及び履修希望者がいなかったため(25) 担当教員の昇任及び履修希望者がいなかったため(24)
	応用画像工学特論	未開講 1-2-3後		2				1				履修希望者がいなかったため(25)
映像情報処理特論	未開講 1-2-3前		2			1	+				担当教員の見直し及び履修希望者がいなかったため(25) 履修希望者がいなかったため(23)(24)	
物質工学コース	金属複合物性学	未開講 1-2-3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	機能材料科学特論	未開講 1-2-3前		2							兼1	履修希望者がいなかったため(25)
	界面物性学特論	未開講 1-2-3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	セラミックス物性化学	未開講 1-2-3後		2				1				履修希望者がいなかったため(25) 教育内容の充実のため(23)
	高次構造材料学特論	未開講 1-2-3前		2			1					履修希望者がいなかったため(25) 教育内容の充実及び履修希望者がいなかったため(23)(24)
	ナノ金属材料学特論	1・2・3後		2							兼1	
	無機複合物性学	未開講 1-2-3前		2			1	+				履修希望者がいなかったため(25) 担当教員の見直しのため(23)
	有機複合物性学	未開講 1-2-3前		2							兼1	履修希望者がいなかったため(23)(24)(25)
	材料組織物性学	未開講 1-2-3後		2			+	1 +				担当教員の見直し及び履修希望者がいなかったため(25) 担当教員の見直しのため(23)
	固体物理学特論	未開講 1-2-3後		2				1				履修希望者がいなかったため(25)
	ナノ無機材料学特論	未開講 1-2-3前 未開講 1-2-3前		2				1				履修希望者がいなかったため(25) 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	生物分子機能学	未開講 1-2-3前 未開講 1-2-3前		2			1					履修希望者がいなかったため(25) 通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	生体機能物質化学	1・2・3後		2				1				
	天然物合成化学特論	未開講 1-2-3前		2				1				履修希望者がいなかったため(25)
	物質変換触媒化学	未開講 1-2-3後		2							兼1	履修希望者がいなかったため(25)
応用錯体化学特論	1・2・3後		2			1	+				担当教員の昇任のため(24)	
無機変換化学特論	1・2・3前 未開講 1-2-3前		2				+			兼1	通常開講(25) 履修希望者がいなかったため(24)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
物質工学コース	生体機能構造論	1・2・3前 未開講 1-2・3前		2			1					通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	分子組織科学特論	未開講 1-2・3後		2							兼1	履修希望者がいなかったため(25)
	界面機能科学特論	未開講 1-2・3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	固液界面物性化学特論	未開講 1-2・3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	界面構造化学特論	1・2・3後		2							兼1	
	表面機能制御学特論	未開講 1-2・3前		2		1						履修希望者がいなかったため(23)(24) (25)
	量子計算設計学特論	未開講 1-2・3後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	耐環境性評価学特論	未開講 1-2・3前		2			1					履修希望者がいなかったため(24)(25)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	88	0	90	2	89	0	91	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	トライボ損傷評価学	2	1・2・3	専門	選択	専任教員未補充のため。平成26年度開講予定。
2	社会基盤計画特論	2	1・2・3	専門	選択	専任教員未補充のため。平成26年度開講予定。
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講となった科目は選択科目であり、学生の履修への影響は無い。（両科目とも平成26年度には開講予定）
 学生には、時間割の配布時に、未開講である旨周知・説明した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.02}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<工学研究科 グリーンシステム創成科学専攻（5年一貫制博士課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由		教授	准教授	講師	助教	助手	
英語・国際実践科目	国際セミナーⅠ	1通	1			11 9	4 3 5			3		教育内容の充実のため(24) 担当教員の昇任のため(23)
	国際セミナーⅡ	2通	1			11 9	4 5			3		担当教員の見直しのため(24)
	国際セミナーⅢ	3通	1			11 9	4 5			3		担当教員の見直しのため(25)
	実践英語講座Ⅰ	2前	1							1 2 +		担当教員の見直しのため(25) 担当教員の新規採用のため(24)
	実践英語講座Ⅱ	3前	1							1		
	国際会議プレゼン講座Ⅰ	2後	1							1 2 +		担当教員の見直しのため(25) 担当教員の新規採用のため(24)
	国際会議プレゼン講座Ⅱ	3後	1							1		
研究者養成実践科目	研究者倫理	1前	1			1						
	総合演習Ⅰ	2後	2			11 9	4 5			2 3		担当教員の見直しのため(24)
	総合演習Ⅱ	3後	2			11 9	4 5			2 3		担当教員の見直しのため(25)
	知財戦略	2前	2				1					
	リサーチプロポーザル	3前	1							2 +		教育内容の充実のため(25)
	学外研究	4・5通	1			9	5			3		
	研究指導実践演習	4・5前	1			9	5			3		
高度基礎科目	数理解析学特論	1・2前		2		1						
	環境・エネルギー特論	1・2前		2		1						
	先端機能材料特論	1・2前		2		1						
	エネルギー変換特論	1・2後		2		1						
	先端エネルギーデバイス特論	1・2後		2		1						
	ナノテクノロジー特論	1・2後		2		1	1					
(次世代エネルギーシステム創成コース) 先端技術科目	グリーンデジタルパワー特論	1・2前		2		1	+					担当教員の昇任のため(23)
	材料グリーンプロセス特論	未開講 1・2前		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	先端固体力学特論	未開講 1・2後		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	電気駆動システム特論	未開講 1・2後		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	電気エネルギー特論	1・2後		2		1						
	先端デバイス組織学特論	未開講 1・2後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	先端破壊解析学特論	未開講 3・4・5前		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	電気駆動システム設計特論	3・4・5前		2		1						
	電気エネルギー機器特論	未開講 3・4・5前		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	熱流体エネルギー変換特論	未開講 3・4・5後		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	グリーンIT特論	前 3・4・5後		2		1	+					教育効果の向上及び担当教員の見直しのため(25)
	蓄電デバイス材料特論	未開講 3・4・5後		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	先端デバイス物性学特論	未開講 前 3・4・5後		2			1					教育効果の向上及び履修希望者がいなかったため(25)
	エネルギーシステム特別演習Ⅰ	2前	2			2 4 5	2			+		担当教員の見直しのため(24)(25)
エネルギーシステム特別演習Ⅱ	3前	2			3 5	2			+		担当教員の見直しのため(25)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
先端機能物質創製コース	先端電子材料特論	1・2前		2		1						
	高分子材料学特論	1・2前 未開講 4・2前		2			1					通常開講(24) 履修希望者がいなかったため(23)
	先端プラズマプロセス特論	1・2後		2		1						
	超精密機械特論	1・2後		2			1					
	有機合成反応設計学	1・2後		2		1	4					担当教員の昇任のため(23)
	機能性錯体化学特論	1・2後		2			1					教育課程の充実のため(25)
	先端プラズマ材料科学特論	未開講 3・4・5前		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	先端機械設計特論	3・4・5前		2			1					
	先進センシング科学特論	後 3・4・5前		2		1						担当教員の見直しのため(25)
	高効率合成化学特論	未開講 3・4・5前		2		1	4					担当教員の昇任及び履修希望者がいなかったため(25)
	グリーンマグネティクス特論	未開講 3・4・5後		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	分子組織場設計特論	未開講 3・4・5後		2		1						履修希望者がいなかったため(25)
	先端高分子材料学特論	未開講 3・4・5後		2			1					履修希望者がいなかったため(25)
	分子変換反応特論	未開講 3・4・5前		2			1					教育課程の充実及び履修希望者がいなかったため(25)
	物質創製特別演習Ⅰ	2前	2			2 4	4 3		2			担当教員の見直しのため(24)(25)
物質創製特別演習Ⅱ	3前	2			4	1 3		2			担当教員の見直しのため(25)	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 18	科目 31	科目 0	科目 49	科目 18 [0]	科目 33 [2]	科目 0 [0]	科目 51 [2]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎	専 用	m ²	共 用	m ²	共用する他の 学校等の専用	m ²	
	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
				室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成25年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(25)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	長崎大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学定学員	取定容員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
【学部】	年	人	年次人	人		倍				
教育学部										
学校教育教員養成課程	4	240	—	960	学士(教育学)	1.01	平成10年度	長崎市文教町1-14		
情報文化教育課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成20年度より学生募集停止	
経済学部			3年次							
総合経済学科	4	355	10	1,440	学士(経済学)	1.02	平成10年度	長崎市片淵4-2-1		
昼間コース										
夜間主コース	4	60	5	250	〃	0.99	〃	〃		
医学部			2年次							
医学科	6	116	5	683	学士(医学)	1.00	昭和24年度	長崎市坂本1-12-4		
保健学科	4	106	14	452	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	平成14年度	長崎市坂本1-7-1		
歯学部										
歯学科	6	50	—	305	学士(歯学)	1.00	昭和55年度	長崎市坂本1-7-1		
薬学部										
薬学科	6	40	—	240	学士(薬学)	1.02	平成18年度	長崎市文教町1-14		
薬科学科	4	40	—	160	学士(薬科学)	1.07	昭和61年度	〃		
工学部										
工学科	4	380	—	1,520	学士(工学)	1.07	平成23年度	長崎市文教町1-14		
機械システム工学科	4	—	—	—	〃	—	平成2年度	〃	平成23年度より学生募集停止 (各学科共通の編入学定員は、学年進行に伴い平成25年度より学生募集停止)	
電気電子工学科	4	—	—	—	〃	—	平成10年度	〃		
情報システム工学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃		
構造工学科	4	—	—	—	〃	—	昭和42年度	〃		
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	平成3年度	〃		
材料工学科	4	—	—	—	〃	—	昭和45年度	〃		
応用化学科	4	—	—	—	〃	—	平成3年度	〃		
各学科共通		—	—	—		—	平成18年度			
環境科学部			3年次							
環境科学科	4	140	10	580	学士(環境科学)	1.00	平成10年度	長崎市文教町1-14		
水産学部										
水産学科	4	110	—	440	学士(水産学)	1.03	昭和48年度	長崎市文教町1-14		
【研究科】										
教育学研究科 (修士課程)										
教科実践専攻 (専門職学位課程)	2	18	—	36	修士(教育学)	1.02	平成20年度	長崎市文教町1-14		
教職実践専攻	2	20	—	40	教職修士(専門職)	1.00	平成20年度	長崎市文教町1-14		

大学の名称	長崎大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
経済学研究科 (博士前期課程) 経済経営政策専攻	2	15	—	30	修士(経済学) 修士(経営学)	0.89	平成16年度	長崎市片淵4-2-1	
(博士後期課程) 経営意思決定専攻	3	3	—	9	博士(経営学)	1.00	平成16年度	長崎市片淵4-2-1	
工学研究科 (博士前期課程) 総合工学専攻	2	200	—	400	修士(工学)	1.07	平成23年度	長崎市文教町1-14	
(博士後期課程) 生産システム工学専攻	3	10	—	30	博士(工学)	1.00	平成23年度	長崎市文教町1-14	
(博士課程) グリーンシステム創成科学専攻	5	5	—	25	博士(工学)	1.00	平成23年度	長崎市文教町1-14	
水産・環境科学総合研究科 (博士前期課程) 水産学専攻	2	35	—	70	修士(学術) 修士(水産学)	0.90	平成23年度	長崎市文教町1-14	
環境共生政策学専攻	2	8	—	16	修士(学術) 修士(環境科学)	0.81	平成23年度	〃	
環境保全設計学専攻 (博士後期課程)	2	17	—	34	〃	0.93	平成23年度	〃	
環境海洋資源学専攻	3	12	—	36	博士(学術) 博士(水産学) 博士(環境科学)	1.13	平成23年度	長崎市文教町1-14	
(博士課程) 海洋フィールド生命科学専攻	5	5	—	25	博士(水産学) 博士(環境科学) 博士(海洋科学)	0.66	平成23年度	長崎市文教町1-14	
生産科学研究科 (博士前期課程) 機械システム工学専攻	2	—	—	—	修士(学術) 修士(工学) 修士(水産学)	—	平成12年度	長崎市文教町1-14	機械システム工学専攻, 電気情報工学専攻, 環境システム工学専攻, 物質工学専攻, 水産学専攻, 環境共生政策学専攻, 環境保全設計学専攻, システム科学専攻, 海洋生産科学専攻, 物質科学専攻, 環境科学専攻は, 平成23年度より学生募集停止
電気情報工学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成12年度	〃	
環境システム工学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成12年度	〃	
物質工学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成12年度	〃	
水産学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成12年度	〃	
環境共生政策学専攻	2	—	—	—	修士(環境科学)	—	平成16年度	〃	
環境保全設計学専攻	2	—	—	—	〃	—	平成16年度	〃	
(博士後期課程) システム科学専攻	3	—	—	—	博士(学術) 博士(工学) 博士(水産学) 博士(環境科学)	—	平成12年度	長崎市文教町1-14	
海洋生産科学専攻	3	—	—	—	〃	—	平成13年度	〃	
物質科学専攻	3	—	—	—	〃	—	平成13年度	〃	
環境科学専攻	3	—	—	—	〃	—	平成16年度	〃	

大学の名称	長崎大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地		
医歯薬学総合研究科 (修士課程) 熱帯医学専攻 保健学専攻 (博士課程) 医療科学専攻 新興感染症病態 制御学系専攻 放射線医療科学専攻 (博士前期課程) 生命薬科学専攻 (博士後期課程) (旧)生命薬科学専攻 (新)生命薬科学専攻	1	12	—	12	修士(熱帯医学)	0.00	平成18年度	長崎市坂本1-12-4		
	2	20	—	40	修士(看護学) 修士(理学療法学) 修士(作業療法学)	1.07	平成18年度	長崎市坂本1-7-1		
	4	62	—	248	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.05	平成14年度	長崎市坂本1-12-4		
	4	20	—	80	博士(学術) 博士(医学) 博士(歯学) 博士(薬学)	1.15	平成14年度	〃		
	4	8	—	32	〃	0.84	平成14年度	〃		
	2	36	—	72	修士(薬科学)	1.06	平成24年度	長崎市文教町1-14		
	3	—	—	—	博士(学術) 博士(薬学) 博士(臨床薬学)	—	平成14年度	長崎市文教町1-14		
	3	10	—	20	博士(学術) 博士(薬科学)	0.50	平成24年度	長崎市文教町1-14		
	国際健康開発研究科 (修士課程) 国際健康開発専攻	2	10	—	20	修士(公衆衛生学)	1.05	平成20年度		長崎市坂本1-12-4

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(国立大学法人)が設置している全ての大学(学部、学科)及び大学院(専攻)について、それぞれの学校種ごとに、平成25年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。その際、AC対象学部学科等についても当該様式に記入してください。

(ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 生産システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程))の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
59	5	64	60	6	66		
(65)	(5)	(70)	[1]	[1]	[2]	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

5 教員組織の状況

<工学研究科 グリーンシステム創成科学専攻（5年一貫制博士課程）>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成25年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
14	3	17	15	3	18		
(14)	(3)	(17)	[1]	[0]	[1]	65歳	0名

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成25年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
 ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成25年5月1日現在、特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<工学研究科>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
/	

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

/	
---	--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

/	
---	--

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成25年6月上旬)